

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年9月26日(2013.9.26)

【公開番号】特開2013-136622(P2013-136622A)

【公開日】平成25年7月11日(2013.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-037

【出願番号】特願2013-43836(P2013-43836)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	9/02	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/475	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 1
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	9/02	
C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/475	

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月29日(2013.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

肝細胞増殖因子をコードする核酸を含有するリンパ管形成促進剤。

【請求項2】

前記肝細胞増殖因子が、配列番号1で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド又は配列番号1で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%のアミノ酸配列同一性を有しあつ

肝細胞増殖因子活性を有する類似体である、リンパ管形成促進剤。

【請求項 3】

前記肝細胞増殖因子が、配列番号 1 のアミノ酸 55 ~ 728 で示されるアミノ酸配列を有するポリペプチド又は配列番号 1 のアミノ酸 55 ~ 728 で示されるアミノ酸配列と少なくとも 90 % のアミノ酸配列同一性を有しあつ肝細胞増殖因子活性を有する類似体である、リンパ管形成促進剤。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のリンパ管形成促進剤を含んで成る、乾癬の治療のための製剤。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のリンパ管形成促進剤を含んで成る、酒さ性皮膚病の治療のための製剤。

【請求項 6】

局所投与又は非経口投与用に処方された、請求項 4 又は 5 に記載の製剤。

【請求項 7】

液体溶液、分散液、懸濁液、錠剤、丸剤、散剤、リポソーム又は座剤として製剤化された、請求項 6 に記載の製剤。

【請求項 8】

賦形剤をさらに含んで成る、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項のリンパ管形成促進剤。

【請求項 9】

制御放出剤をさらに含んで成る、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項のリンパ管形成促進剤。

【請求項 10】

賦形剤をさらに含んで成る、請求項 4 または 5 に記載の製剤。

【請求項 11】

制御放出剤をさらに含んで成る、請求項 4 または 5 に記載の製剤。

【請求項 12】

前記局所用に処方された製剤がリポソームをさらに含んで成る、請求項 6 記載の製剤。